

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉お受けしました個人情報は、商品・サービスに関するご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために当社(日本エー・アイ・シー(株)、(株)ロゴスコーポレーション)及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。



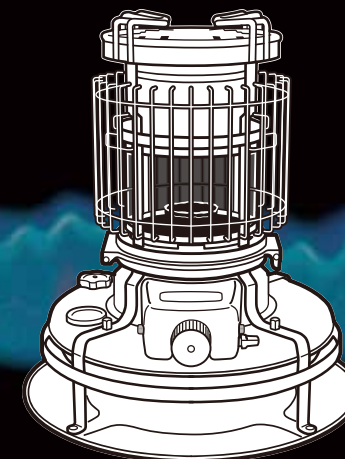
パノラマストーブクッカー PANORAMA STOVE COOKER

石油こんろ(煮炊暖房用)

取扱説明書

型式 **81060081**

Happy with Aladdin Magic!



BC

保証書付

日本国内家庭用
Use only in Japan

危険



ガソリン厳禁
使用燃料:灯油
KEROSENE ONLY

注意

変質した持ち越し灯油
使用厳禁

警告



換気必要
1時間に1~2回



衣類乾燥厳禁

寝るとき消火
給油時消火

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。LOGOS×ALADDINパノラマストーブクッカーをご使用前に必ずこの取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお役立てください。

特に「安全上のご注意」(1~8ページ)は、ご使用前に必ずお読みください。また、別冊の取扱説明書(注意書)の内容を必ずお守りいただき、安全に正しくお使いください。

使用中は必ず1時間に1~2回(1~2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。

綿しん使用(から焼き厳禁)

Premium Club Aladdin(無料)へ登録のお願い

登録手順

- 1 下記 URL にアクセスまたは二次元コードを読み取ってください。
aladdin-aic.com/club
- 2 「Premium Club Aladdin」から画面に記載した手順に従って、ご登録をお願いします。



Premium Club Aladdin(無料)へ登録すると

- 特典1** お手入れ耳より情報をゲット!
ご登録いただいた製品を末永くご愛用いただく為、最新のお手入れ情報をお届けします。
- 特典2** 不具合情報をいち早くお知らせ!
万が一、製品で不具合が発生した場合の情報をご連絡します。
- 特典3** アラジングッズをゲット!
ご登録いただいた方から毎月抽選で10名様にアラジングッズをプレゼントします。

Aladdin(アラジン)公式サイト

aladdin-aic.com

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。または、日本エー・アイ・シーお客様相談室にご相談ください。

アラジンサポートページはこちら

ご相談前に取扱説明書をご確認ください。
また、アラジンサポートページで、「よくある質問」など各種情報をご覧いただけます。
aladdin-aic.com/support



最新情報はアラジンサポートページでご確認ください。

SUPPORT Aladdin 検索

日本エー・アイ・シーお客様相談室はこちら

メールでのお問い合わせ
右記2次元コードを読み取ってください。
aladdin-aic.com/support/inquiry



お電話でのお問い合わせ
※窓口の内容は予告なく変更させていただきます。ご了承ください。
フリーダイヤル 0120-88-3090
受付時間: 平日9:00~17:00
(土曜・日曜・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

日本エー・アイ・シー株式会社

本社 〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地
☎ 0790(44)1025 FAX0790(44)2191

2406 ★

目次

■安全上のご注意	1～8
■使用する場所	8
■各部のなまえ	9
■使用前の準備	11～13
■使い方	13～17
■安全装置	17
■日常の点検、手入れ	18～24
■定期点検	24
■部品の交換のしかた	25～29
■保管(長期間使用しない場合)	29
■故障、異常の見分け方と処置方法	29
■設計上の標準使用期間について	30
■仕様	30
■アフターサービス	30
■お客様の個人情報のお取り扱いについて	裏表紙
■保証書	裏表紙
■プレミアムクラブアラジンへ登録のお願い	裏表紙




このたびはブルーフレームクッカーをお買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、青い炎を囲み、暖をとりながら料理をしておすごしいただくために、正しい取り扱い方法を記載したものです。ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しい使い方で末ながくご愛用ください。

本製品は、検査工程で燃焼試験を行なっていますので、しんに灯油を含んでおり、また『しん』の先端が黒くなっています。




本製品は『から焼き』厳禁です。＜本製品のしんは綿しんを使用しております＞
使用中に灯油が無くなると『から焼き』になります。
『から焼き』になると、綿しんが燃えてすすが発生し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
(すすによる部屋の汚損や不完全燃焼による体調不良など)
使用中は油量計の表示を確認(12ページ)し、灯油が無くなる前に消火、給油してください。

安全上のご注意

●ここに示した事項は、 危険  警告  注意 に区分しています。

 危険	人が死亡、重傷を負う危険性がきわめて高いもの。または火災の危険がさしせまっているもの。
 警告	人が死亡、重傷を負う可能性があるもの。または火災の可能性のあるもの。
 注意	人が軽傷を負ったり物的損害の可能性のあるもの。

●イラスト(まんが)の横にある記号は次のことを表しています。

	禁止(してはいけないこと)を表しています。
	強制(必ず実施していただくこと)を表しています。
	注意(気をつける必要があること)を表しています。

安全上のご注意

危険 (DANGER)

1. ガソリン使用禁止

- ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

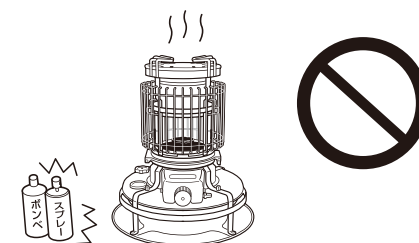


KEROSENE ONLY
ガソリン使用禁止

警告 (WARNING)

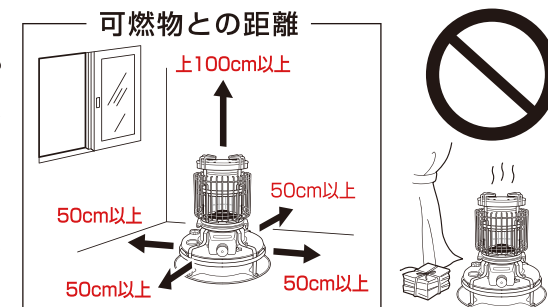
1. スプレー缶厳禁

- 殺虫剤などのスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを本製品の上や周辺に放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



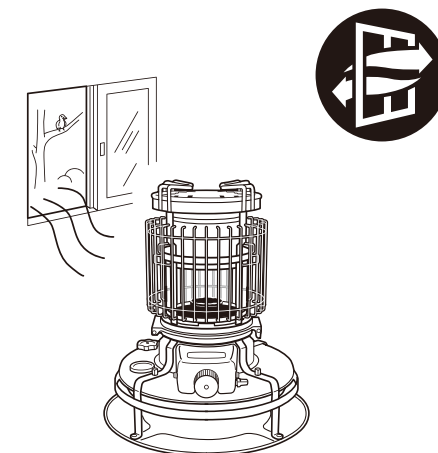
2. 可燃物近接厳禁

- カーテンや衣類、ふとんや毛布など燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災の原因になります。
- 可燃物とは図に示す距離を確保し、水平で丈夫な床の上で使用してください。



3. 換気必要

- 換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。
- 使用中は必ず1時間に1～2回(1～2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。
(窓の凍結、地下室など)換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。
換気する時は換気扇を使用したり、2ヶ所以上窓を開き風を通せば効率よく換気ができます。

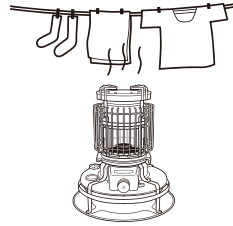


安全上のご注意

警告 (WARNING)

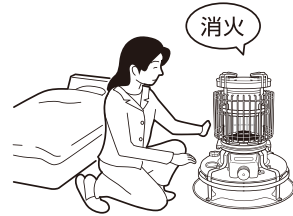
4. 衣類の乾燥厳禁

- 衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



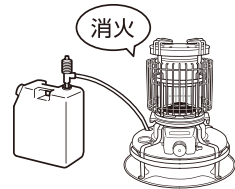
5. 寝るとき消火

- 寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故(一酸化炭素の発生による中毒や、すす及び未燃ガスの発生による室内の汚損等)が発生するおそれがあります。



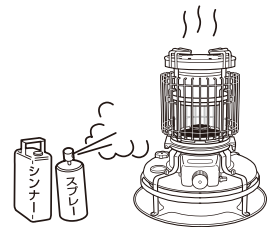
6. 給油時消火

- 給油は必ず消火してから火の気のないところで行なってください。
火災の原因になります。



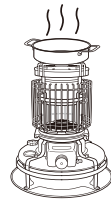
7. 可燃性ガス使用厳禁

- 本製品を使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



8. 空だき厳禁

- なべ、やかん、フライパンなどは空だきしないでください。
空だきすると内部に熱がこもり、火災の原因になります。



9. 調理中は本製品から離れない

- 煮物などを調理したまま、本製品から離れないでください。
食材がこげたり燃えたりして火災の原因になります。本製品から離れるときは、いったん火を消してください。



安全上のご注意

警告 (WARNING)

10. 火起こしの禁止

- 本製品で炭などの火起こしは絶対にしないでください。
内部に熱がこもり異常燃焼するおそれがあります。



注意 (CAUTION)

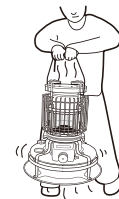
1. 居室内給油禁止・給油時火気禁止

- 給油は必ず火の気のないところで行なってください。
火災のおそれがあります。



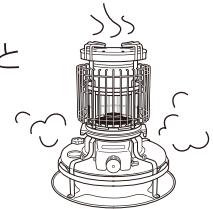
2. 燃焼中移動禁止

- 燃焼中や消火直後は持ち運ばないでください。
やけどのおそれがあります。また転倒すると火災になるおそれがあります。



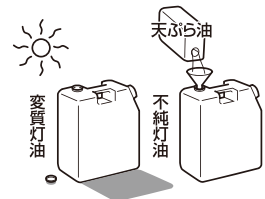
3. 異常・故障時使用禁止

- 油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。
緊急の場合でもあわてずにしんをさげて消火してください。



4. 不良灯油使用禁止

- 変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。
異常燃焼やしんが下がらなくなるおそれがあります。(➡11ページ参照)



5. 高温部接触禁止

- 燃焼中や消火後しばらくは、高温部(ガード、ごとく、上面板など)に手などをふれないでください。やけどのおそれがあります。
小さいお子様やからだの不自由な方のいる家庭では特に注意してください。
やかんやなべなどの取っ手が加熱されていることがありますので、やけどに注意してください。

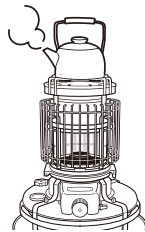


安全上のご注意

⚠ 注意 (CAUTION)

6. やかんやなべなどの使用注意

- やかんなどをのせた場合は、振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。
- 故障の原因となりますので、吹きこぼれや煮こぼれをさせないよう目を離さないでください。
- 水滴が燃焼部や内部にかかると異常燃焼や故障の原因になります。



7. 大なべ (直径25cm以上) 禁止

- 上面板の外周からはみ出すような大きななべ (25cm以上)、鉄板 (指定以外の補助具) をのせないでください。内部に熱がこもったり、炎が横にのびたりして異常燃焼のおそれがあります。
- 不安定なやかん、なべ、フライパンなどは使用しないでください。すべり落ちるおそれがあります。



8. 純正部品の使用

- しんなどの部品は、必ず純正部品 (指定された部品) を使用してください。
- 予想しない事故が発生するおそれがあります。



9. 保管時にしていただくこと

- 長時間使用しないとき又は保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
 - 傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
- 火災のおそれがあります。
- (→29ページ参照)



10. しんの下げすぎに注意

- 小さい炎で使用しないでください。
- しんを下げすぎ、小さい炎で使用すると、油タンクやバーナーが過熱し、臭いやすすがでることがあります。
- (→15ページ参照)



※内部の様子



11. 分解修理・改造の禁止

- 改造して使用しないでください。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解、修理は行わないでください。
- 故障、破損した場合は、使用しないでください。



異常燃焼や火災の原因になることがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意 (CAUTION)

12. 高温部やけど注意

- 燃焼中や消火後しばらくは、高温部に手などふれないでください。
- 上部から高温の熱気が出ています。手や顔などを近づけないでください。やけどのおそれがあります。



13. 運搬する時の注意

- 本製品を運搬する場合は、油タンク内の灯油を抜いてください。
- 傾けないように静かに運んでください。特に階段などでは油漏れのおそれがあります。
- 引っ越し等の時は傾けたり、横倒しの状態で運搬しないでください。運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。



14. 次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所。振動の激しいところ。
- 風のあたる場所や出入口のそば、屋外。
- 暖炉や押し入れなど、本製品が囲まれる場所。
- ほこり、湿気、金属粉の多い場所。
- 不安定な物をのせた棚などの下。
- 可燃性ガスの発生する場所、たまる場所。
- 直射日光の当たる場所や、高温になる場所。
(例: 熱のこもる場所、他の熱源の影響を受ける場所)
- 人のいない場所。(温室、飼育室など)
- 換気が十分に行なえない場所。
- 高地。(標高1000m 以上)
- スプレーや化学薬品を使用する場所。
(理・美容院、クリーニング店、メッキ、塗装、脱脂、洗浄工場など)



15. 煮こぼれ禁止

- 煮炊きをおこなう場合は、煮こぼれさせないように注意して調理を行ってください。

こぼれた汁がしんにかかったり、外筒内部に入ると、火が着きにくくなったり、しんが下がらなくなったり、異常燃焼や故障の原因になります。



16. 風のあたる場所での使用禁止

- 屋外や部屋の出入口など、風のあたる場所では使用しないでください。
- 異常燃焼を起こすおそれがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意 (CAUTION)

17. 安全装置の作動確認

- 使用開始時と、使用中は1ヶ月に1回以上、および誤って煮こぼれをした場合は、対震自動消火装置を作動させて、確実に消火することを確認してください。



確実に消火しないときは使用を中止し、お買上げの販売店、または「日本エー・アイ・シー株式会社お客さま相談室」へお問い合わせください。

18. 取り扱いに不慣れな人や子供だけで使わせたり、触れさせたりしない

- お子様やお年寄り、不慣れな人がお使いになる場合は、本製品の取り扱い、部屋の換気、高温部への接触などに十分注意してください。



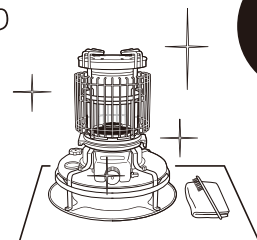
やけどや、脱水症状のおそれがあります。また転倒すると火災になるおそれがあります。

19. ほこりの除去

- 燃焼部周辺や置台など機器のほこりをときどき掃除してください。ほこりが蓄積するとマッチ点火したとき燃え残りがほこりに引火して火災のおそれがあります。

ごみ、ほこりなどがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

(→19ページ参照)



20. 廃棄するときは灯油を抜く

- 本製品を廃棄処分するときは、必ず油タンク内の灯油を市販の給油ポンプ等で抜いてください。

灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。



安全上のご注意

お願い (NOTICE)

灯油の廃棄

- 灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

結露に注意

- 本製品は室内で燃焼する製品のため、気密性の高い部屋などでは、換気を十分にしてください。
換気をしないと、壁や天井が結露する場合や結露によってパソコンや電気機器等に障害が生じるおそれがあります。

使用場所

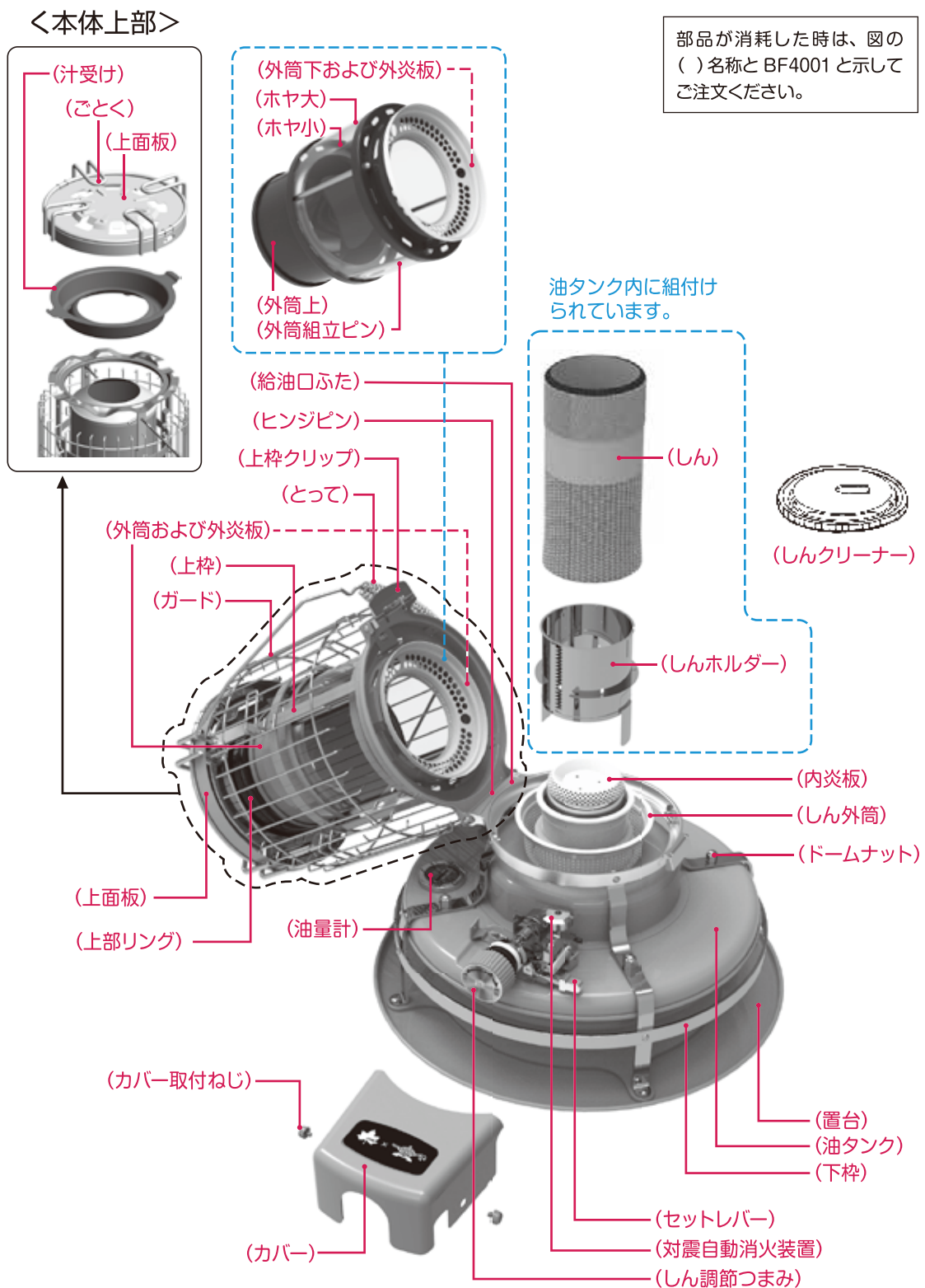
本製品を安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

■効果的に使用するために

- 本製品は、自然対流形ですので、冷たい外気に接する窓際や壁側に近い所に置いた方が効果的です。この場合可燃物との距離を確保してください。(→2ページ参照)

各部のなまえ

■構造図



使用前の準備

■使用前の準備

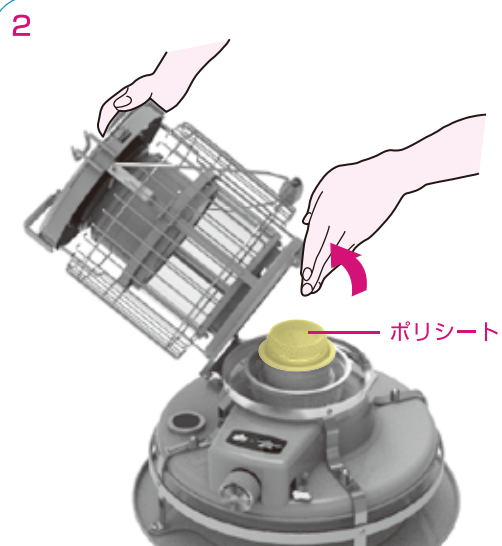
開こん

- ① 段ボール箱から本製品を取り出し、パッキング材を取り除いてください。
○しんクリーナーが付属されています。
捨てないようにご注意ください。(図1)

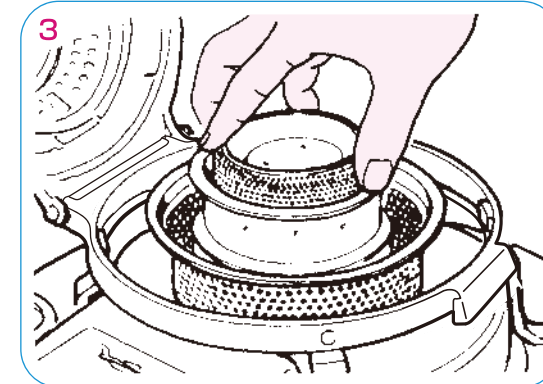


工場出荷時、油量計に輪ゴムでとめられています。

- ② 上枠クリップを引き上げ本体上部を静かに倒し、燃烧部にかぶせてあるポリシートを取り除いてください。(図2)



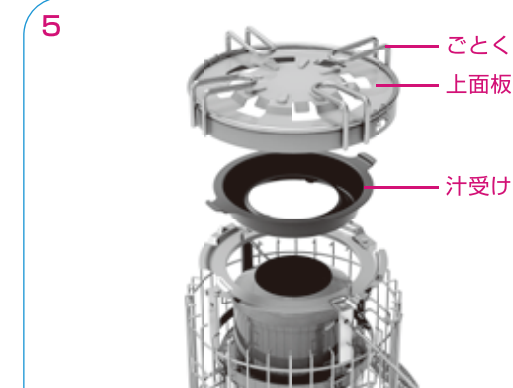
- ③ 輸送中の振動で内炎板が浮き上がっていることがありますので、内炎板を押さえてつけてください。(図3)



- ④ 上枠を元どおりに起こし、上枠クリップが完全にしまるまで押してください。

- ⑤ ごとく(上面板)を取り外して汁受けをセットし、上面板を元どおりに取り付けてください。(図5)

○ごとくと上面板の間にある緩衝材は取り除いてください。



●取り付け/取り外しについて、詳しくは18ページ「日常の点検、手入れ(汁受けの掃除)」をご参照ください。

○段ボール箱は、本製品の収納に必要ですから、捨てずに保管してください。

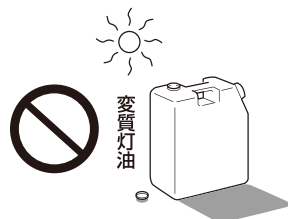
使用前の準備

燃料

1. 燃料は、灯油 (JIS 1 号灯油) を必ず使用してください。
2. 変質灯油、不純灯油(汚れた油、水の混じっている灯油など)は、絶対に使用しないでください。灯油は、必ず火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光をさけた場所に保管してください。
3. 変質灯油、不純灯油とは、

●変質灯油

古い灯油 (ひと夏もち越した灯油)、日あたりがよい場所で保管した灯油、温度が高い場所で保管した灯油など。特に容器のふたがあけてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油は変質しやすいので必ず灯油用のポリ容器をお使いください。



●不純灯油

灯油以外の油 (ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油など)がほんの少しでも混入した灯油。また、水やごみが混入した灯油



■灯油とガソリンの見分けかた
指先に使用燃料をつけ息を吹きかける。
(火の気のない所で行ってください)



(区別がつきにくいときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)

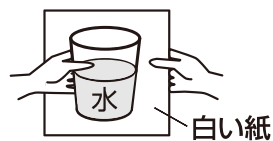
4. 変質灯油や不純灯油を使用すると、……………

- 変質灯油・不純灯油を使用すると、油の程度にもよりますが、1日～30日のご使用で、しんに多量のタールがたまって、点火のときの火の回りがおそくなったり、しんが下がらなかつたり、炎のムラが出たり、炎が小さくなったり、激しいにおいがしたり、異常燃焼したりします。
- 水の混入した灯油を使用すると、給油タンクに油が残っていても火力が小さくなり、しんが下がらなくなったりするおそれがあります。
- ガソリン・シンナーなど揮発性の高いものを使うと火災の原因になります。

不良灯油の見分けかた

変質灯油、不純油などの不良灯油の見分けかたは大変難しいですが一つの目安として、2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れて背後に白い紙をあてます。少しでも色がついていれば不良灯油です。紫外線で灯油が劣化した時は、灯油が変色しにくく見分けかたが難しくなります。ひと夏もち越した灯油は無色透明でも使用しないでください。

- 水と灯油の区別がつかないなら正常。
- 灯油に少しでも色がついていたら使用しない。



使用前の準備

燃料

5. 万一変質灯油や不純灯油を使ったときの処置のしかた。

- 油タンク内の灯油を入れ替えてください。
- 悪い油をきれいに抜き取り、良質の灯油で内部を2～3回洗ってからご使用ください。(悪い油が残っていると、再発します。)
- しんの掃除をする。(21ページのしんの掃除のしかたにしたがって行なってください。)
- しんの掃除をしても効果のないときは、25ページにしたがってしんを取り替えてください。
- しんの取り替えはお買い求めの販売店に依頼されることをおすすめします。

給油のしかた

本製品のしんは綿しんです。から焼きしないように油量計が「0」になる前に給油してください。

1、使用燃料

新しい灯油をお使いください。

- 1シーズン前の灯油や不純油、水の混じった灯油を使いますと、臭いが出る、すすが出る、立消える、しんの上下ができなくなることもあります。又燃焼不良を起こす原因にもなります。

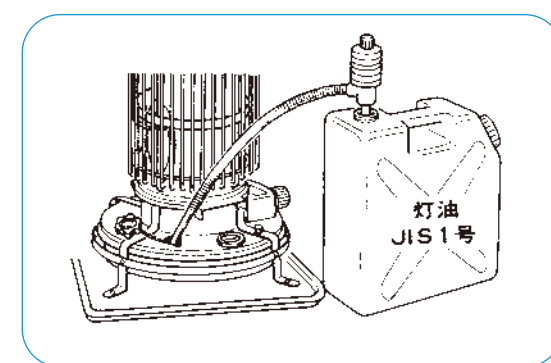
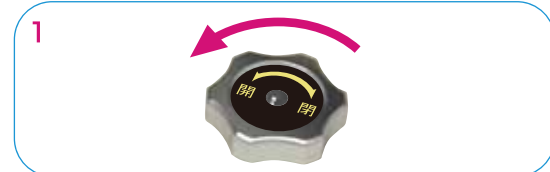
●保管場所

灯油は、必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

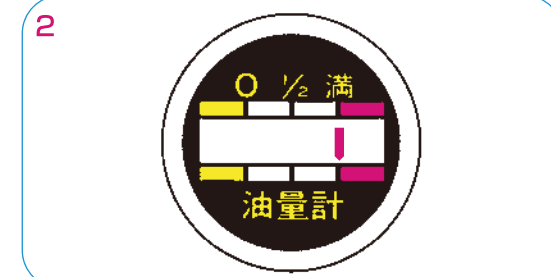
2、給油の際の手順と注意

ポリ容器や石油缶の底には、水がたまっていることがありますので給油ポンプを少し持ち上げて給油してください。

- ① 給油口ふたを反時計方向に回して外してください。(図1)



- ② 給油ポンプで油量計が「満」を示すまで給油してください。(図2) 「満」以上は絶対に給油しないでください。



- ③ 給油口ふたは油もれしないようにしっかりしめ、こぼれた油はきれいにふきとってください。

ご注意

初めてご使用になる時(新しいしんの場合)は、給油後約1時間ほど待ってから点火してください。(約1時間ほどでしんに灯油がしみ込みます。)

使用前の準備

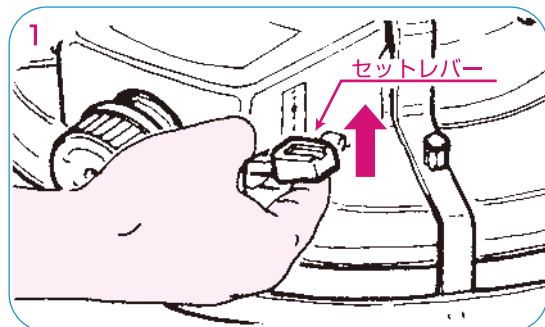
■点火前の準備と確認

対震自動消火装置のセット

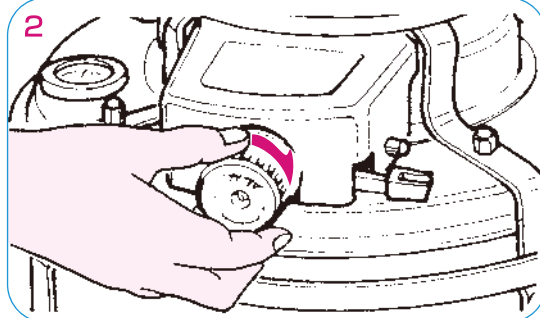
対震自動消火装置をセットしてください。
(セットしなければ点火できません。)

●セットの手順

- ① セットレバーを押し上げてください。
(図1)



- ② しん調節つまみを「燃焼」の方向に止まるまで回してください。(図2)
(すぐに点火しない時は、つまみを戻してください。)



●セットするときの注意

- ① 本製品は必ず水平な場所で使用してください。床が傾いたり、ぐらついたりする所で使用しますと、対震自動消火装置が作動することがあります。
- ② 本製品に人や物があたり、乱暴に取り扱うと対震自動消火装置が作動することがあります。

●再セットの方法

セットの手順と同じです。

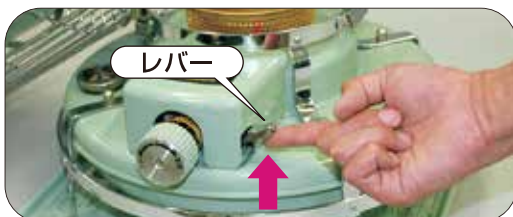
使い方

■点火

- ① 右側のクリップを外し、本体上部を静かに倒して下さい。



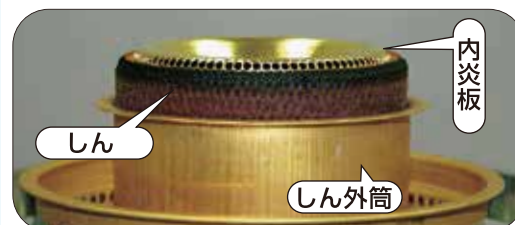
- ② 消火装置のレバーを上押し、セットする。しん調節つまみを右方向へ回してカチカチと音がすることを確認してください。



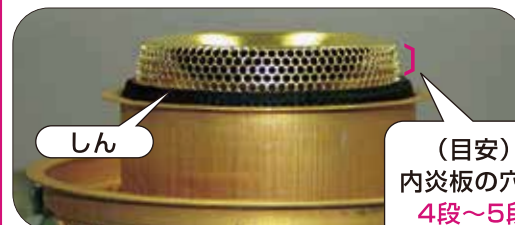
セット後、レバーは下がります。

使い方

- ③ しん調節つまみを右方向に止まるまで回す。



- ④ しん調節つまみを左方向へ戻し、内炎板の穴が上から4~5段程度が見える高さにしんを調節してください。
しんを出し過ぎた状態で点火すると、すすが出たり、炎が消えたりします。



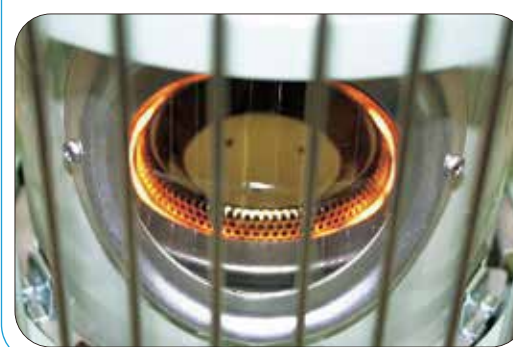
- ⑤ ライター、マッチ等を用い下図のように3箇所程度、点火してください。



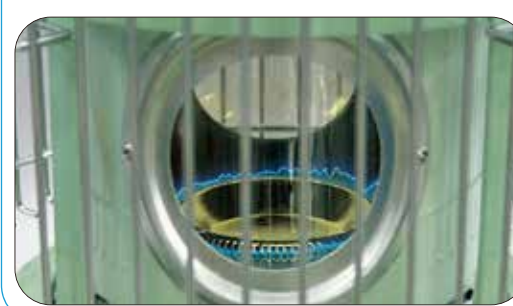
- ⑥ 点火後は速やかに上枠を戻し、上枠クリップが完全に締まった事を確認してください。



- ⑦ 本体上部が閉じた状態で黄色の炎が全周に廻るのを待つ。黄色の炎が全周に廻りにくい場合はゆっくりとしん調節つまみを左方向に回し黄色の炎を全周に廻す。



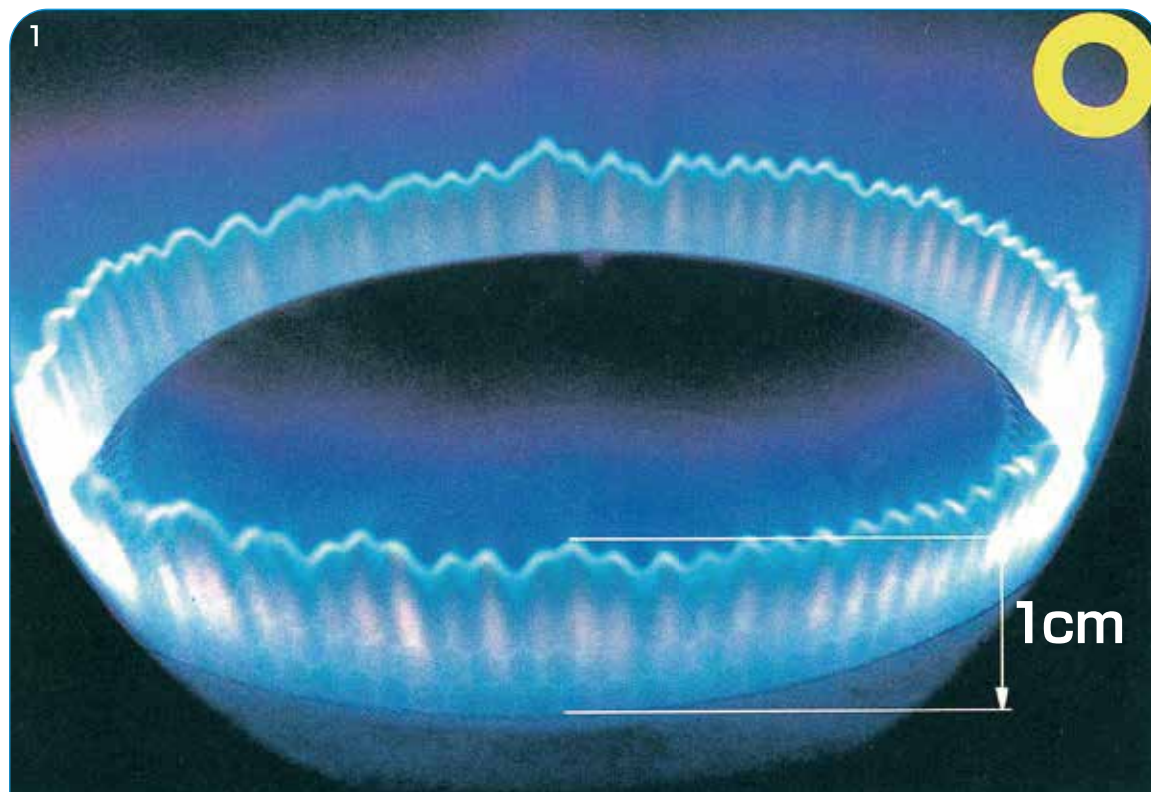
- ⑧ 黄色の炎が全周に廻れば、しん調節つまみをゆっくりと右方向へ回し、最適燃焼状態に調整してください。
(最適燃焼: 1cm程度の青い炎が最適な燃焼状態です。)



【注意】このストーブのしんは、「綿」ですので空焼きしないでください。油量計が「0」になる前に給油してください。

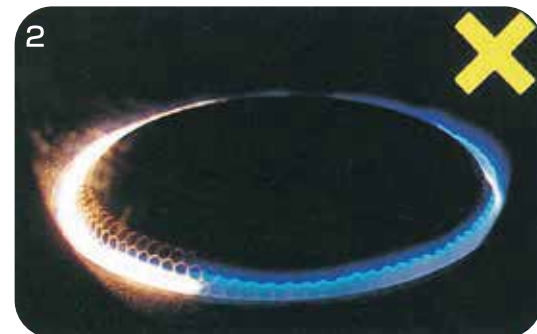
使い方

■ 炎の調節



これが正常燃焼の炎です。炎の高さは1cm程度です。

- 次の写真の炎は、正常燃焼ではありません。そのまま使用しつづけると危険です。正常な状態に調節する必要があります。



- この炎は点火直後の炎です。(写真2)
この黄色の小さな炎や青火でも小さい炎で燃焼を続けると、しんが焼けたり、臭いやすすがでます。
しん調節つまみを「燃焼」の方向にゆっくり回して写真1の正常な炎に調節してください。



- 正常燃焼のようですが炎が低すぎ臭いやすすが出ます。(写真3)
しん調節つまみを「燃焼」の方向にゆっくり回して、写真1の正常な炎に調節してください。

使い方



- この炎はしんの出しすぎです。音が出たり、すすが出ます。(写真4)
しん調節つまみを「消火」の方向にゆっくり回して、写真1の正常な炎に調節してください。



- このように1カ所だけ黄色い炎が出るのはそこにしんのほつれがあるか、マッチのもえがらがついている場合です。
ほつれ、マッチのもえがらを取り除けば正常燃焼になります。(写真5)

注意

異常な燃焼状態(写真2、3、4、5)で使用されると、すすが発生します。しんを傷める場合があります。
燃焼状態によっては、大量にすすが発生し、周囲がすすで汚れる場合があります。
必ず正常燃焼の炎でご使用ください。

■ 調理時の注意

警告

- **火力調節は厳禁** すすが発生する原因となります。
- **空だき厳禁**
なべ、やかん、フライパンなどは空だきしないでください。空だきすると内部に熱がこもって火災の原因になります。
- **衣類の乾燥厳禁**
衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が乾燥すると、本製品の熱気でゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。
- **内部に熱がこもる使いかた禁止**
上面板の上に製品より大きい鍋や鉄板を直接のせてふさいだり、つい立てなどを使い製品の周りを囲んだりしないでください。内部に熱がこもり、異常燃焼を起こすおそれがあります。



注意

- **大なべ(25cm以上) 禁止**
 - 製品の外周からはみ出すような大きななべ(25cm以上)、鉄板をのせないでください。内部に熱がこもったり、炎が横にのびたりして異常燃焼のおそれがあります。
 - 不安定なやかん、なべなどは使用しないでください。すべり落ちたり転倒したりするおそれがあります。
- **煮こぼれ注意**
煮炊きをおこなう場合は、煮こぼれさせないように注意して調理を行ってください。こぼれた汁がしんにかかったり、外筒内部に入ると、火が着きにくくなったり、しんが下がらなくなったり、異常燃焼や故障の原因になります。
- **風のある場所での使用禁止**
屋外や部屋の出入口など、風のある場所では使用しないでください。異常燃焼を起こすおそれがあります。

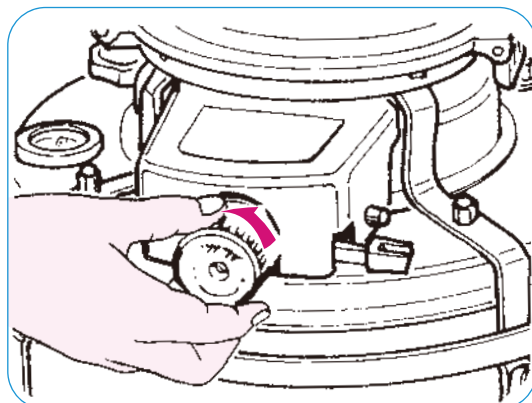
■ 使い方

注意

- ごとくの上にのらないような、小さななべやかんなどを使用しないでください。外筒や上面板の上に直接なべ、やかんなどをのせないでください。なべやかんを外筒や上面板の上にのせると、異常燃焼を起こします。必ずごとくの上にのせて使用してください。
- 燃焼中にときどき炎を見て、正常燃焼していることを確認してください。
- 煮こぼれをしないように注意してください。なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態では使用しないでください。中華なべなどの底の丸いなべは、必ずなべの取っ手を持ちながら使用してください。

■ 消火

通常の消火は、しん調節つまみを「消火」の方向に止まるまで回してください。(セットレバーを押し下げても消火はできませんが、通常の消火はしん調節つまみを回してください。)



- おやすみになる時や、本製品を使用している部屋をはなれる時は、消火してください。
- 必ず消火していることを確認してください。

緊急で消火する場合

注意

- 対震自動消火装置のセットレバーを押し下げても、しんが下がらず消火できない場合は、しん調節つまみを「消火」の方向に回してしんを下げてください。
- しん調節つまみを回してもしんが下がらず消火できない場合は、水をかけて消火してください。

本製品に水をかけるときは、やけどや火災などに十分注意して行ってください。

■ 再点火

一度消火し、再点火する場合は、燃焼部が完全に冷えてから13ページ点火の順序に従って再点火してください。

燃焼部が暖かいうちに再点火しますと、炎が急に立ち上ったりしますので絶対にしないでください。

■ 安全装置

■ 対震自動消火装置

- この装置は、地震(強震程度)または、これに相当する振動および衝撃を受けたとき「しん」が降下して消火します。
- 地震などによって作動した場合は、周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常のないことを確認した後、セットし、再点火してください。(13ページ参照)

■ 日常の点検、手入れ(汁受けの掃除)

本製品を消火し、各部が十分冷えてからやわらかい布などで汚れや水分をふきとってください。

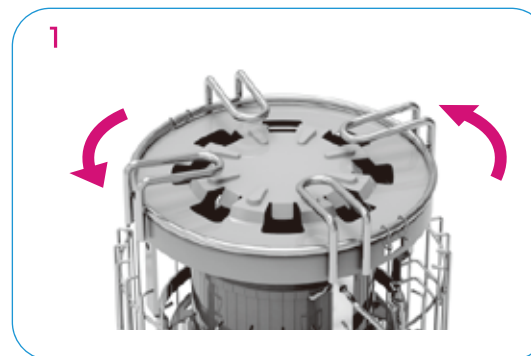
注意

ごとく・上面板・汁受けはこまめに掃除してください。煮こぼれ汁や水などがたまったまま使用したり、濡れたまま使用すると、煮こぼれ汁や水などがしんにかかったり、外筒内部に入り、火が着きにくくなったり、しんが下がらなくなったり、異常燃焼や故障の原因になります。

注意 お手入れは必ず手袋を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。

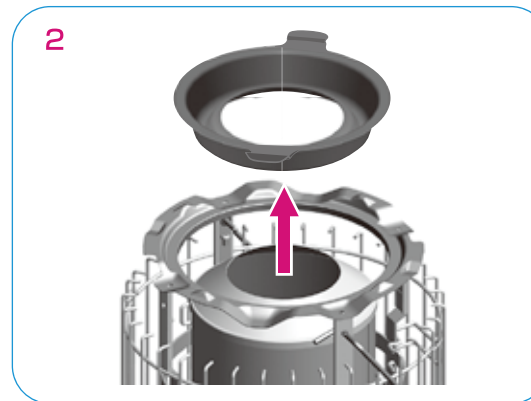
- 調理物や煮こぼれ汁などが付着したまま使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 濡れたままや汚れが付着したまま放置しないでください。また、金属製のたわしや、シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などを使用しないでください。キズがついたり表面塗装がはがれ、さびの原因になります。

1 ごとく(上面板)を左方向に回し、外筒からはずしてください。(図1)



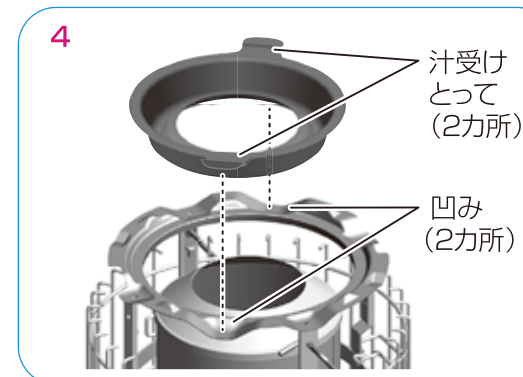
○ごとくは上面板からとりはずすことができます。(ごとくの取り外し方/取り付け方→19ページ参照)

2 汁受けを外筒からはずしてください。(図2)

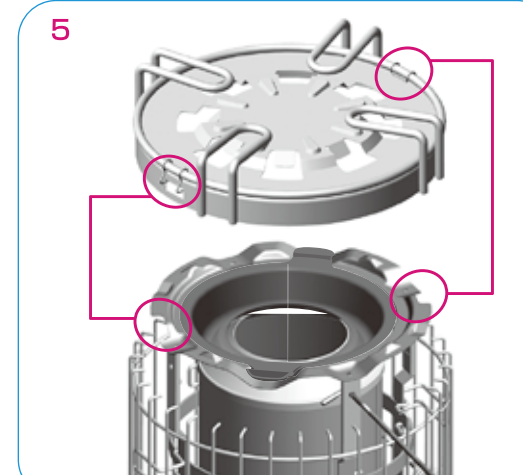


3 各部の汚れをふきとり、十分乾かしてください。

4 各部を反対の手順で取り付けてください。汁受けを取り付けるときは、汁受けとってを外筒の凹みに合わせて置いてください。(図4)



5 ごとく(上面板)を取り付けるときは、上面板の突起と外筒上部の切り欠きを合わせてはめ込み、右側に回してください。(図5)



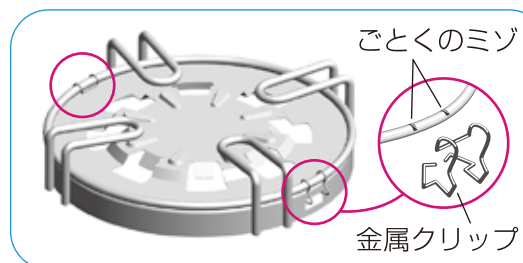
■ 日常の点検、手入れ（ごとくの掃除）

ごとくの取り外し方／取り付け方

- ごとくは上面板からとりはずすことができます。（ごとくと上面板は2カ所の金属クリップで取り付けられています。）

注意

- 本製品を使用するときは、必ずごとくを取り付けてから使用してください。



■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

注意

内部の手入れは、必ず手袋を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。

器具および、器具の周辺はいつもきれいに掃除しておいてください。よごれたままの使用は事故のもととなり、器具の寿命を縮めます。

- ①対震自動消火装置は精度の高い機構になっていますので分解掃除はしないでください。
- ②内炎板の取り外し、はめ込みは必ずしんを下げた後に行ってください。しんを上げたまま行きますと、しんの先端や内貼りのテープを傷つけることがあります。

1. 周囲の可燃物の点検

- ①ストーブの周辺は、常に整理、清掃し燃えやすいものを置かないでください。

2. ほこり、ごみの掃除

燃焼部にほこりやごみが付着すると、燃焼のための空気不足、また空気の流れをじゃまするため、炎が凸凹になったり赤い炎が出たりしてきます。そのまま使用し続けると、空気の流れが悪くなるため燃焼部が過熱し灯油の蒸発量が増え、炎がどんどん伸びてすすが出てきて部屋中すすだらけになったり、火災になるおそれがあります。

常に炎をよく見て、燃焼部をときどき掃除してください。

下の写真の炎は、内炎板の小孔にほこりやごみが付着した状態の炎です。このまま使用すると危険です。



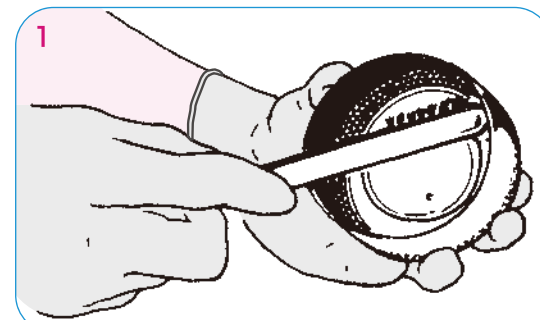
- 20ページ①の掃除をしてください。



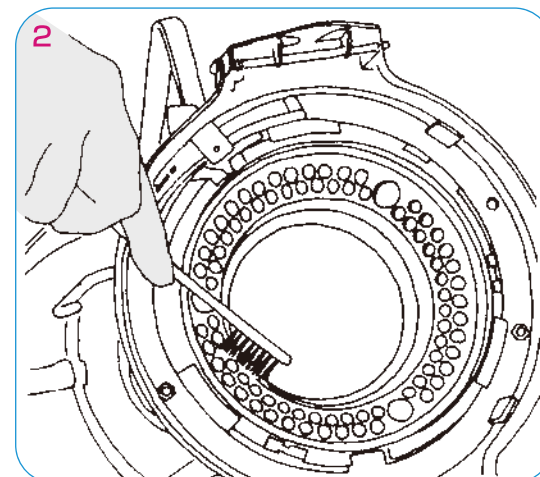
- 20ページ③の掃除をしてください。

■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

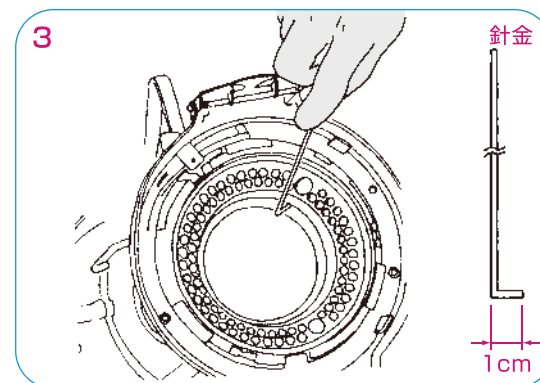
- ①内炎板内外面のほこりやごみは、週に1回以上やわらかなブラシで取り除いてください。（図1）内炎板の小孔にほこり（図4のほこりⒶ）やごみが付着したままご使用になりますと、臭いやすすの原因になります。



- ②しん外筒や外炎板（図2）のほこりやごみもブラシでよく掃除してください。



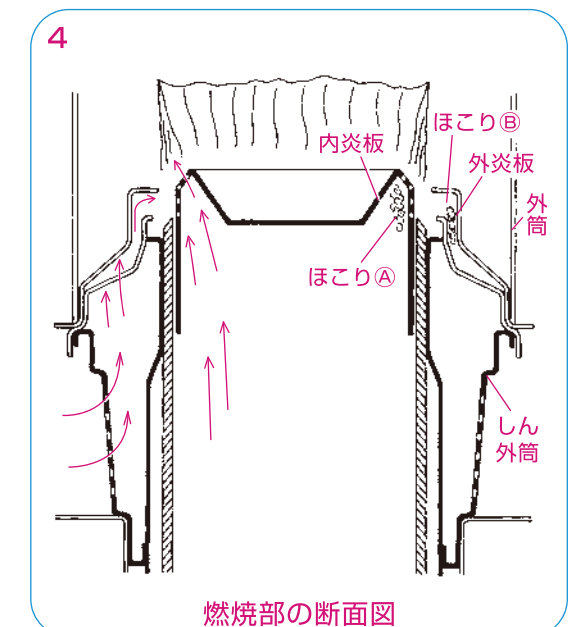
- ③図3のように細い針金の先を曲げ外炎板のすきまのごみやほこり（図4のほこりⒷ）もよく掃除してください。



- ④しん外筒上面に付着したカーボンは、器具をいためないよう注意してけずりおとしてください。

- ⑤対震自動消火装置に付着したほこりやごみはブラシかやわらかな布で拭きとってください。

- ⑥置台の上のほこりも拭きとってください。ほこりがたまっていると、内炎板に吸い上げます。



燃焼部の断面図

■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

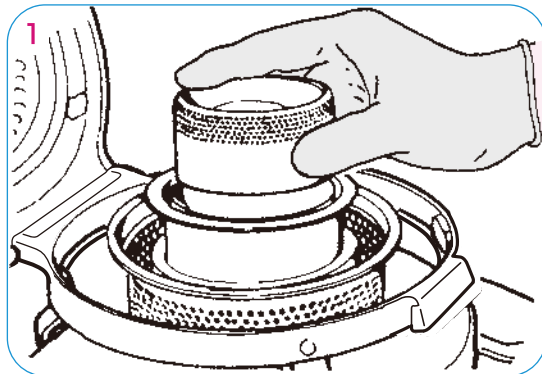
3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ

- ① 給油するとき、タンクや置台上に油がこぼれたり、たまったりしたときは布できれいにふきとってください。
- ② 給油口ふたのゴムパッキンなどがいたんで油がにじんできたら、お買上げの販売店、または「日本エー・アイ・シー株式会社お客様相談室」へお問い合わせください。

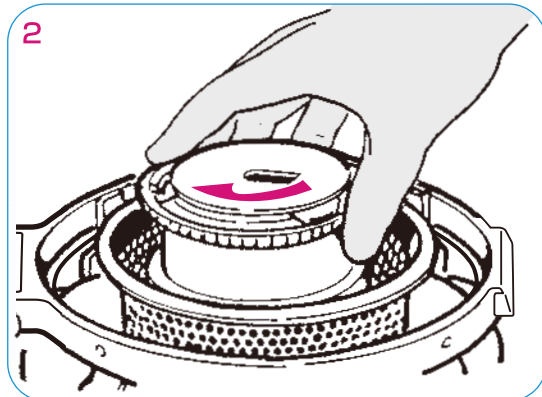
4. しんの掃除

しんの先端にカーボンが多く付着してきたり、点火しにくかったり、火のまわりが遅いとき、臭いや赤火をともってきたときは、掃除してください。

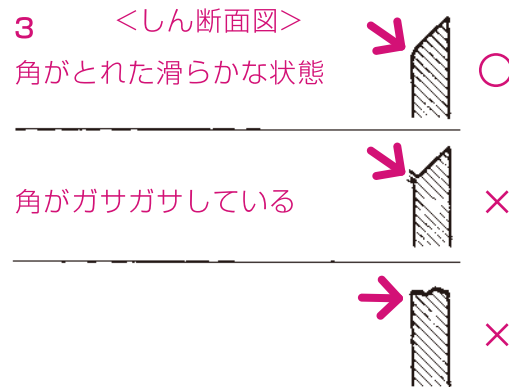
- ① 上枠を倒し、しんをいっぱいに下げたから内炎板を外してください。（図1）



- ② しんクリーナーをしん外筒にかぶせ、しんクリーナーがわずかに持ち上がるまでしんを上げてください。
- ③ しんクリーナーを押しつけながら、しん外筒上面にそって右方向（時計回り）に回してカーボンをけずり取ってください。（図2）



- しんをけずる時は、強い力をかけたり、しんの出しすぎに注意してください。
- ④ しんクリーナーで処理した後のしんの先端は、指などでなでつけるなど、突起物がなく、滑らかな状態に保ってください。（図3）



- ⑤ しんを下げ、落ちたカーボンをやわらかな布等できれいに拭き取り、内炎板をセットしてください。

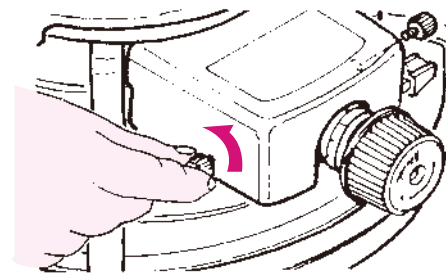
■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

5. しんの繰り出し —— しんの出が少なくなった時

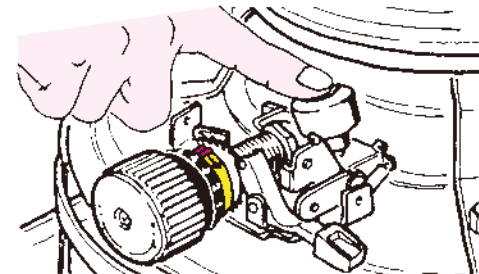
しん調節つまみをいっぱい回しても、しんの出が少なく、正常燃焼しないときは、次の要領でしんを一段繰り出してください。

- しんを新しく交換した時や、最初にしんが正常にセットされているときは、しんの繰り出しは2~3回できます。
- 繰り出しができなくなったときは、新しいしんと交換してください。

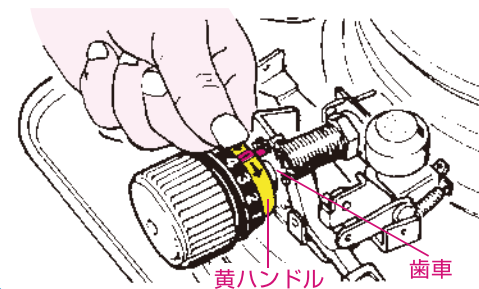
- ① カバー両側面のねじを外してカバーを取りはずしてください。



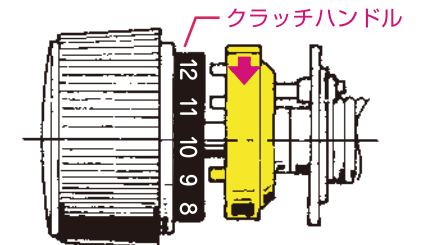
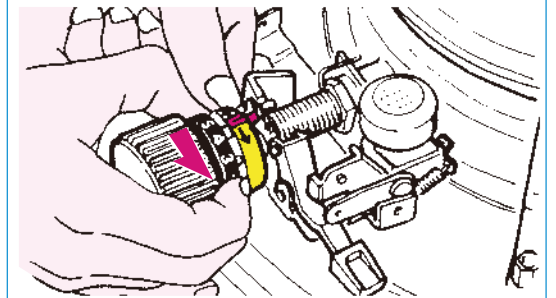
- ② 対震自動消火装置の振子を手で押して消火装置を作動させてください。（操作中に歯車が急に回転し危険なことがありますから必ず作動させてください）



- ③ 歯車の赤いピンと黄ハンドルの赤い線を合わせてください。



- ④ 黄ハンドルを押さえ、クラッチハンドルを手前に引き、そのまま右方向に1目盛り回し次の数字にします。数字が上がったら手をゆるめ、クラッチハンドルを黄ハンドルにはめてください。



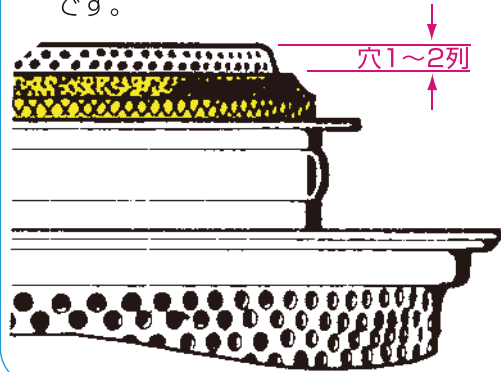
クラッチハンドルを手前に引いた状態。

例えば 1のときは2
2のときは3
3のときは4
⋮
12のときは1

- これでしんは一段繰り上がりました。
- クラッチハンドルの数字は、ハンドルの位置を示しているだけで数字そのものには意味はありません。前の例のように数字を増やせばしんは繰り上げられ、逆に数字を減らしてゆけばしんは繰り下げられます。したがって最初のしんセット位置は、かならずしも「1」にならなくてもさしつかえありません。

■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

- ⑤ 一段繰り上げた時のしんの出具合は、内炎板の穴が1～2列見える程度が目安です。



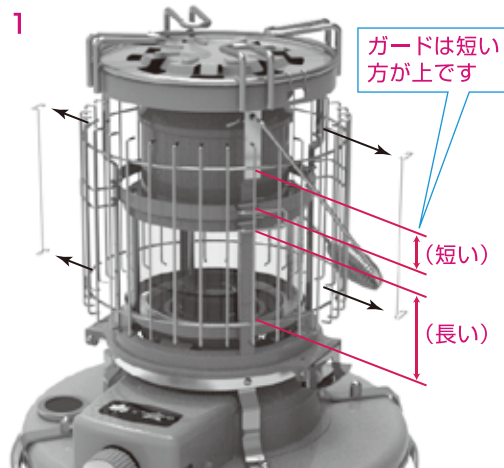
ご注意

- クラッチハンドルは、しんの交換、しんの繰り出しの時以外は引っ張らないでください。
- しんを上限まで上げたまま使用しますと異常燃焼をおこすことがありますから注意してください。
(点火方法→13ページ参照)

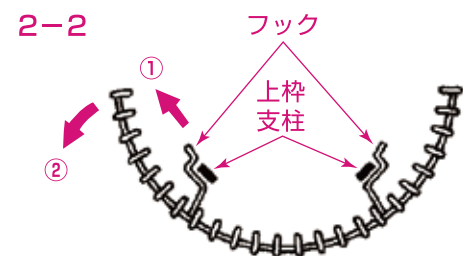
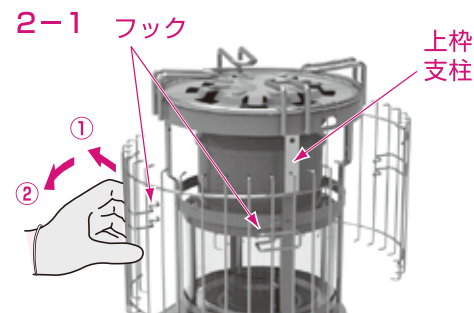
6. ガードのとりはずし

● ガードのはずし方

- ① 掃除などでガードをはずすときは、次の方法で行ってください。
ガードは前と後とに2分割になっていて、それぞれ2カ所のフックで上枠の支柱にひっかけて止めてあります。
はじめにガードを止めている金具をはずしてください。
(図1)



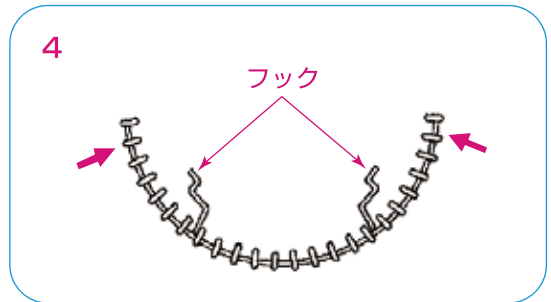
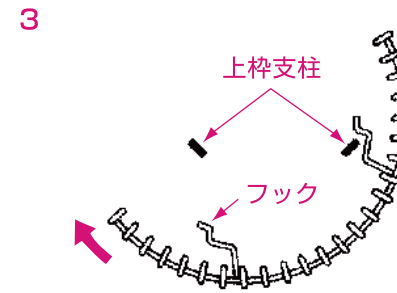
- ② つぎにガードの4カ所のフックを上枠の支柱からはずしてください。
右又は左どちらか一方を図の矢印のように引けばはずれます。
(図2-1、2-2)



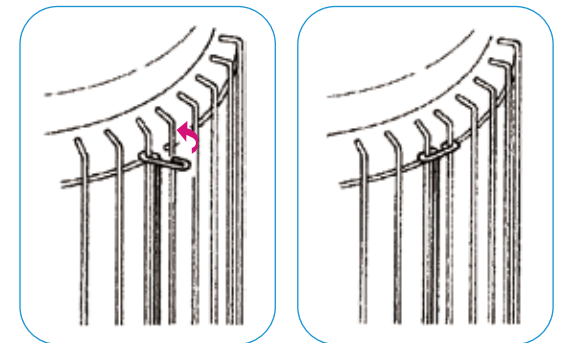
■ 日常の点検、手入れ（燃焼部の掃除）

● ガードのつけ方

はずしたときと反対に右又は左どちらか一方を上枠の支柱にフックをひっかけて反対側を押してパチンとはめてください。



前後のガードのスキ間の上と下に、金具を4カ所ひっかけてとめてください。



ガードを取り付けて、しっかりはまっているかどうかを確認してください。もしガタガタしているときは、もう一度はずして右図のように、ガードをすこし曲げてから取り付けてください。(図4)

ご注意

- ガードは必ず取り付けられた状態でお使いください。
- 持ち運びの際はとってを持って運んでください。ガードを持つとはずれることがあり危険です。

(対震自動消火装置の点検)

7. 対震自動消火装置の点検

月に2～3回、本製品が燃焼しているとき、置台を強く動かして、対震自動消火装置が作動し消火することを確認してください。

具合の悪いときは、しん及びしん上下装置を点検してください。

■ 定期点検

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。2シーズンに1回程度を目安にお買い上げ店、または修理資格者〔(一財)日本石油燃焼機器保守協会(☎03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいるお店などに点検依頼されることをお勧めします。

部品交換のしかた（しんの交換）

交換の手順は、動画でもご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=cHg6qfsrcJo>



1. しんの交換

⚠ 注意

しんの交換時は、必ず手袋を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。

- 替しんは必ずJIS適合検査合格品ラベル（右図）のついた当社指定の替しん（16LP）をお買い求めください。

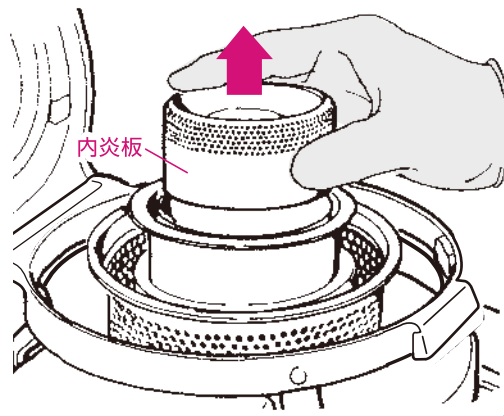


- しんは消耗品です。線り出しが出来なくなった時や、しんの片側がひどく減ってしまった時は新しいしんと交換してください。

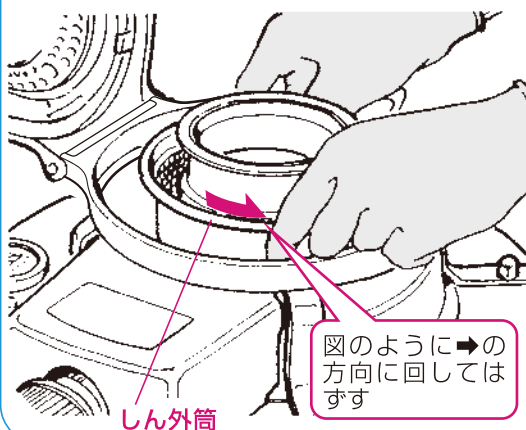
- 1 上枠クリップを引き上げ、本体上部を静かに倒してください。



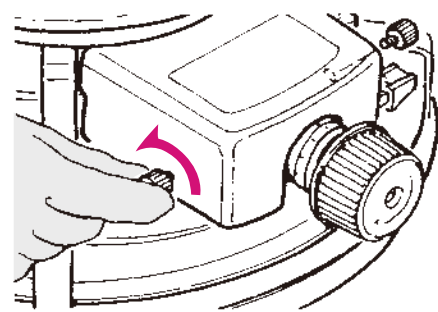
- 2 内炎板を外してください。



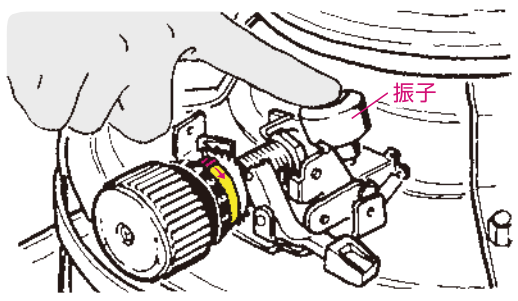
- 3 しん外筒を外してください。
- しん外筒の取り外しは固い場合がありますので、手袋をはめて取り外すようにしてください。



- 4 カバー両側面のねじを外し、カバーを取り外してください。

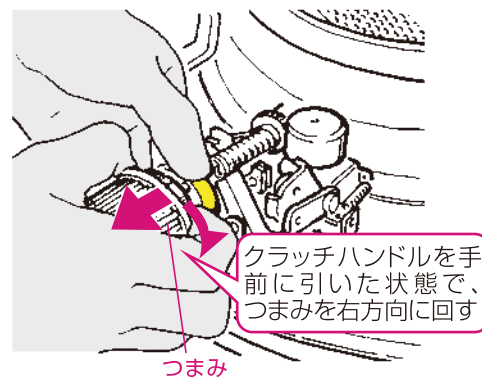


- 5 対震自動消火装置の振子を指で押し、消火装置を作動させてください。

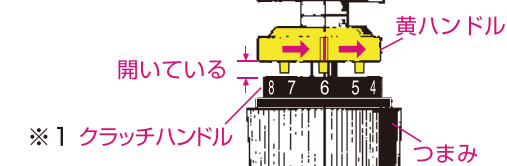


部品交換のしかた（しんの交換）

- 6 クラッチハンドル（※1）を手前に引いた状態にして、ギアが空転するまでつまみを右方向に回してください。クラッチハンドルの「6」を真上にしてください。



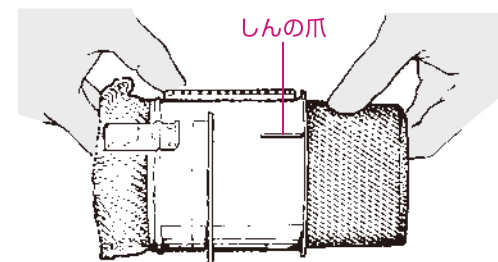
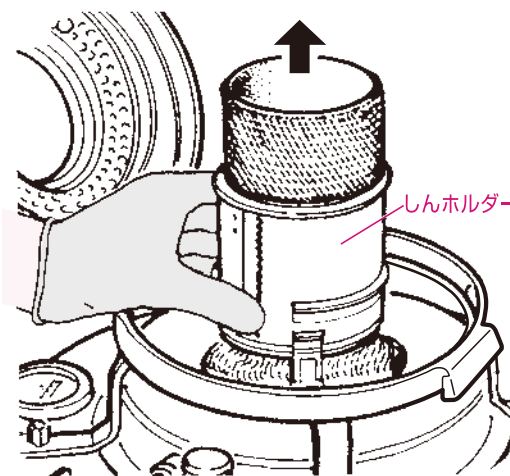
（上から見た図）



クラッチハンドルを手前に引いた状態。

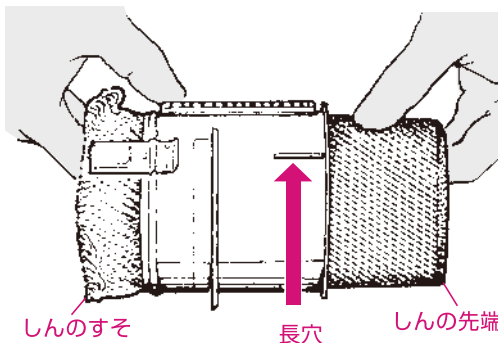
- クラッチハンドルと黄ハンドルが離れづらい場合があります。両手で平行に引っばってください。

- 7 タンクから、しんとしんホルダーを抜き取り、古いしんを、しんホルダーから外してください。

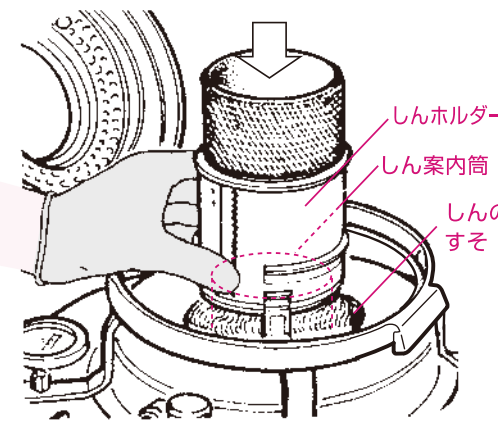


古いしんの爪をしんホルダーから外し、しんを取り外してください。

- 8 新しいしんの爪を、しんホルダーの長穴にセットしてください。しんの先端を傷めると、すすや赤火の原因となりますので、取扱いに注意してください。

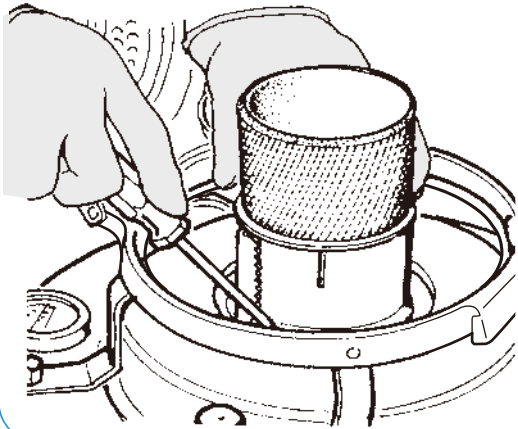


- 9 新しいしんの二つに割れたすそを、しん案内筒にかぶせタンクに入れてください。しん内側の黄色テープがしん案内筒に引っかかってめくれられないよう注意してください。

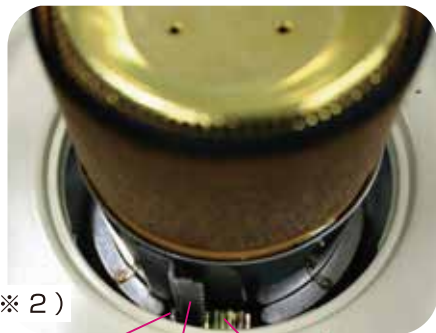


部品交換のしかた（しんの交換）

しんのすそがめくれないようにドライバーなどで、タンクの中の溝に入れてください。

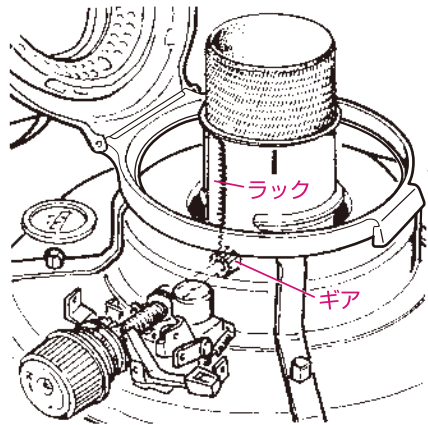


- ⑩ しんホルダーのラック（歯板）をギアと案内板の間に入れ（※2）、ギアとラックの歯をかみ合わせてください。

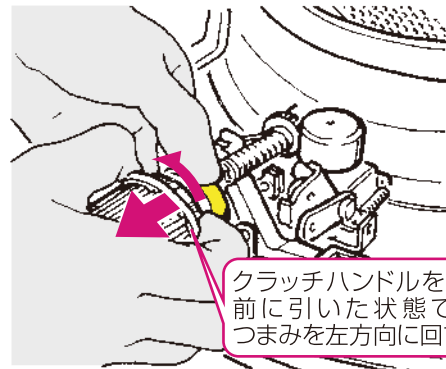


（※2）

案内板 ラック ギア



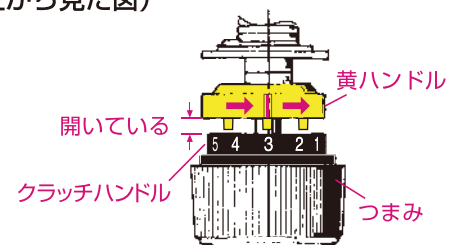
- ⑪ クラッチハンドルを手前に引いた状態にして、つまみを左方向に止まるまで回し、しんを下げてください。（ギアとラックがかみ合っていない場合はしんが下がりません。）



クラッチハンドルを手前に引いた状態で、つまみを左方向に回す

- ⑫ クラッチハンドルを手前に引いた状態で、黄ハンドルを→印の方向に回して、ハンドルの赤い線をクラッチハンドルの「3」に合わせてください。

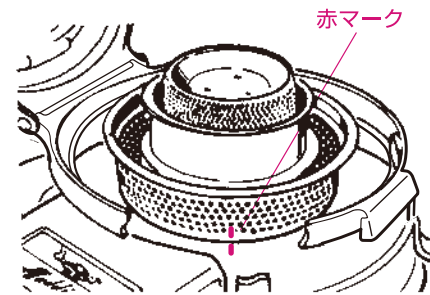
（上から見た図）



クラッチハンドルを手前に引いた状態。

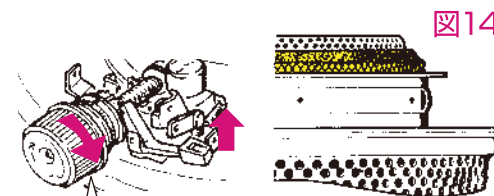
部品交換のしかた（しんの交換）

- ⑬ 内炎板としん外筒をセットしてください。



- しん外筒をセットするときは、しん外筒をはめ込み、右方向に回して、「赤マーク」が合うようにしめつけてください。「赤マーク」が合ってもゆるいときは、もっとしめつけてください。
- しん外筒をセットした時は、念のためしんを一杯上げ、しん外筒が持ち上がらないことを確認してください。
- しんが上がった状態でセットレバーを下げるか、振子を指で押して対震自動消火装置によって、しんがすと下がるか確認してください。

- ⑭ セットレバーを上げ、つまみを右方向に止まるまで回してください。手を離れたときに図14のように内炎板の穴が1～2列見える位置が適切なしんの高さです。



セットレバーをあげてつまみを右に止まるまで回す

<しんの高さが適切でない場合>

しんの高さが高いとき

手順⑫に従い、クラッチハンドルの数字を「3」から「2」に合わせ直してください。

しんの高さが低いとき

もう一度手順⑥からやり直してください。

新たにしんをセットしなおす必要はありません。（手順⑦、⑧を省略）

- ⑮ つまみを左方向に止まるまで回し、しんが図14の状態から約20mm下がることを確認してください。確認後、本体上部をセットしてください。

<しんが下がらない場合>

もう一度手順⑥からやり直してください。

新たにしんをセットしなおす必要はありません。（手順⑦、⑧を省略）

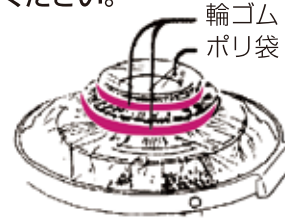
- 新しいしんに、灯油が充分しみ込むまで、約1時間ほど待ってから点火するようにしてください。

- 交換できない場合はお買い上げの販売店又は修理資格者（（一財）日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など）のいる販売店にご相談ください。

■ 保 管（長期間使用しない場合）

おしまいになる前に来シーズンもすぐ使用できるよう、よくお手入れをしてください。

- ① 内炎板内外面のほこりをブラシで掃除してください。
- ② しんクリーナーでしんを掃除してください。
- ③ しん外筒上面のカーボンをけずり落してください。
- ④ 油タンク周りや置台のほこり、ごみ、油こぼれをきれいに拭き取ってください。
- ⑤ その他、上枠、ホヤ、下枠等の汚れもきれいにしてください。
- ⑥ 対震自動消火装置は必ず作動させ、しんを下げてください。
- ⑦ 使用中の灯油は、油タンクから抜き取り、新しい灯油で洗浄し、しん外筒の上からうすいビニールかポリ袋などをかぶせ、しんが乾燥しないように保管してください。本製品と付属品（しんクリーナー）をポリ袋に入れ、梱包用段ボール箱に収納し、湿気のない安全な場所に保管してください。
- ⑧ 灯油を長期間保存しておきますと、変質することがありますので、できるだけ使い残しのないようにしてください。万一灯油を使い残した場合には、フタのある金属容器に入れ日光の当たらない、暗くて涼しい安全な場所に保管してください。灯油の廃棄処分については、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。



■ 故障、異常の見分け方と処置方法

下表は簡単な故障とその原因および処置方法を表にしたものです。各項目をご覧の上、原因項目と現象項目の合致する処置方法をご覧ください。

原因	現象											処置方法		
	点火しない・こぼれ	赤火やすすが出て燃える	消火しない	においがする	炎がかたよる	しんが下がらない	炎が大きくなる	しんの上下の操作が重い	火の回りが遅い	油タンクに油があるのに火が消える	炎が切れている		部分的に赤火になる	しんの消耗が激しい
しんの出が小さい	★	★		★			★					★		しんを上げる又は交換
しんを出し過ぎている	★	★	★	★					★		★		★	しんを下げる
外筒の据わりが悪い。 (完全に閉まっていない)		★		★					★			★		外筒を しっかり閉める
しんの出（高さ）が不揃い				★	★							★		しんクリーナーで 切りそろえる
火力を小さくし過ぎている		★		★	★		★		★			★		しんを上げる
変質灯油（汚れた油や、ポリ 容器で1年持ち越した油など）	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★				良質の灯油と交換する。 及びしんの交換
しんが汚れている しんにタールが溜まっている	★	★		★	★	★	★	★	★	★	★			しんクリーナーで 切りそろえる
しんにカーボンや煮こぼれ汁、 水が付着している	★	★	★	★	★	★		★	★			★		カーボンや煮こぼれ汁、 水を取り除く
灯油が不足している	★						★		★				★	灯油を入れる
灯油に水分が混じっている	★			★		★	★	★	★	★			★	良質の灯油と交換する。 及びしんの交換
内炎板やしん外筒にほこり がたまっている		★		★	★				★		★	★		ほこりを取り除く
しん外筒の固定が均一でない			★		★	★			★				★	均一に締めなおす
しめきった部屋で使用して いる				★	★							★		ときどき換気する
外炎板にほこりがたまっている		★										★	★	外炎板の掃除をする

上記の処置方法により処置しても良くならない場合には、お買い上げの販売店まで連絡してください。点検の結果、機器の原因に基づく異常の場合は、そのままにし、直ちに販売店等に連絡してください。

■ 設計上の標準使用期間について

【設計上の標準使用期間】8年

製造年は本体置台に表示してあります。
本製品は製造後8年を目安に点検又は取り換えをお勧めします。

■ 設計上の標準使用期間について

設計上の標準使用期間を過ぎて使用されると、経年劣化により安全性が損なわれ、発火・けがなど重大事故にいたるおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は、使用者が不具合なく製品を使用している場合でも、点検・取り換えの検討を開始するための目安としています。なお、設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また一般的な故障を保証するものではないのでご注意ください。

■ 設計上の標準使用期間の算定の根拠について

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会発行の自主基準石028「開放式石油ストーブの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」に基づき、使用時間を想定しています。
〈標準使用条件〉年間燃焼時間：2,100時間 年間燃焼回数：300回

■ 標準的な使用条件と異なる使用をした場合の注意点について

- ・製品の使用条件または使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
 - ・製品が目的以外の用途で使用された場合
 - ・標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
 - ・その他経年劣化を特に進める条件で使用された場合
- 上記のような使用をした場合は、設計上の標準使用期間よりも短時間で製品が経年劣化し、安全上支障が生ずるおそれがあります。

■ 仕 様

型 式	81060081	
種 類	煮炊暖房用・屋内用	
点 火 方 式	マッチ点火	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	2.4kW(0.23L / h)	
出 力	2.4kW	
油 タ ン ク 容 量	4.1L	
燃 焼 継 続 時 間	約 17.8 時間	
標 準 適 室	11.5~15.0 m ² (7~9 畳)	
外形寸法 (置台を含む)	高さ 477× 幅 426× 奥行 426(mm)	
質 量	約 8.3kg	
し ん	種 類	成形筒しん・16LP
	呼び寸法	内径 75.0 mm 厚さ 2.6 mm
安 全 装 置	対震自動消火装置	
付 属 品	しんクリーナー、専用収納袋	

■ アフターサービス

- アフターサービスは、お買い上げの販売店に、この製品の型式(81060081)及び故障状態をくわしく連絡してください。
- 引越し、あるいはご進物で、お買い上げの販売店にご相談いただけない場合は、当社へご連絡ください。
- 本製品の保証については「保証書」にくわしく記載しておりますのでよくお読みください。
- 本製品が万一故障した場合には「保証書」の記載内容により保証期間内は無料修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
- 次のような原因による故障及び事故につきましては、保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - ① 灯油以外の燃料や不良灯油を使用したために起こった故障。(例えば、しん上下不良)
 - ② 取扱説明書に記載されている注意事項が守られず誤った使い方をされた場合。
- 無料修理期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理致します。なお、メーカーは、販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本製品には、しんを含めて必ず純正品をご使用ください。他社の部品をお使いになると、思わぬ故障が起こることも考えられます。当社ではこれに対しては責任をお引受けいたしかねます。
- 修理に出すとき、運搬するときは油タンク内の灯油を抜いてください。